

### (9)桑納川・石神川

改修断面は、法勾配 1:2 の土羽河岸を基本とし、桑納川は複断面とします。護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息・生育環境に配慮し自然素材による自然な水際の回復に努めます。

桑納川は、その沿川が水田として主に利用されており、普段は人も少ないことから、高水敷を緩傾斜として水際にヨシ原の造成を行い、動植物の生息・生育環境に配慮した改修とします。

桑納川と石神川に設ける調節池は、関係機関や自治体との調整を図り、内部をビオトープや公園等として積極的な利用を図ります。

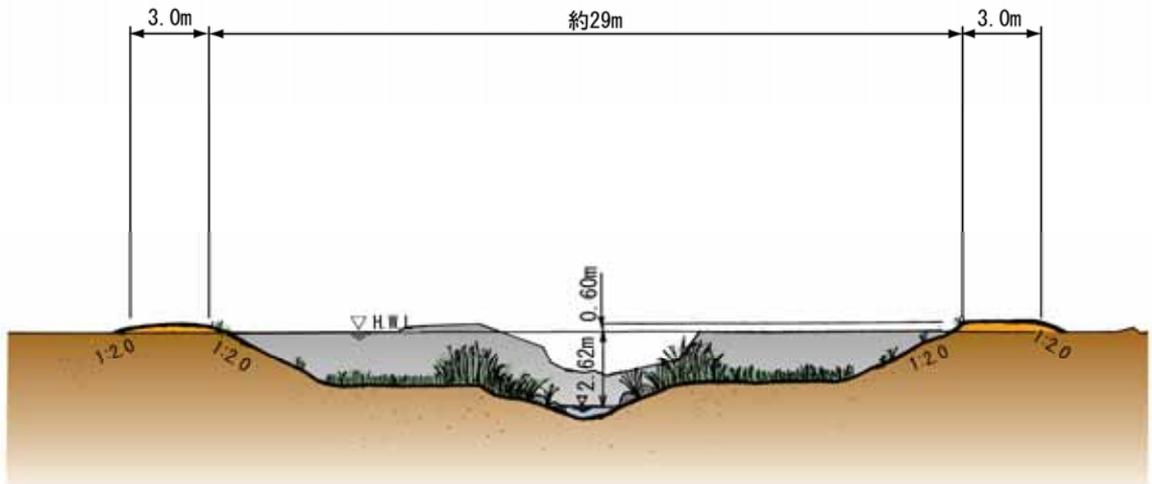
#### 桑納川

- ・ 施行区間 印旛放水路合流点 上流の市道橋
- ・ 延 長 L=5,400m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，河道拡幅，調節池

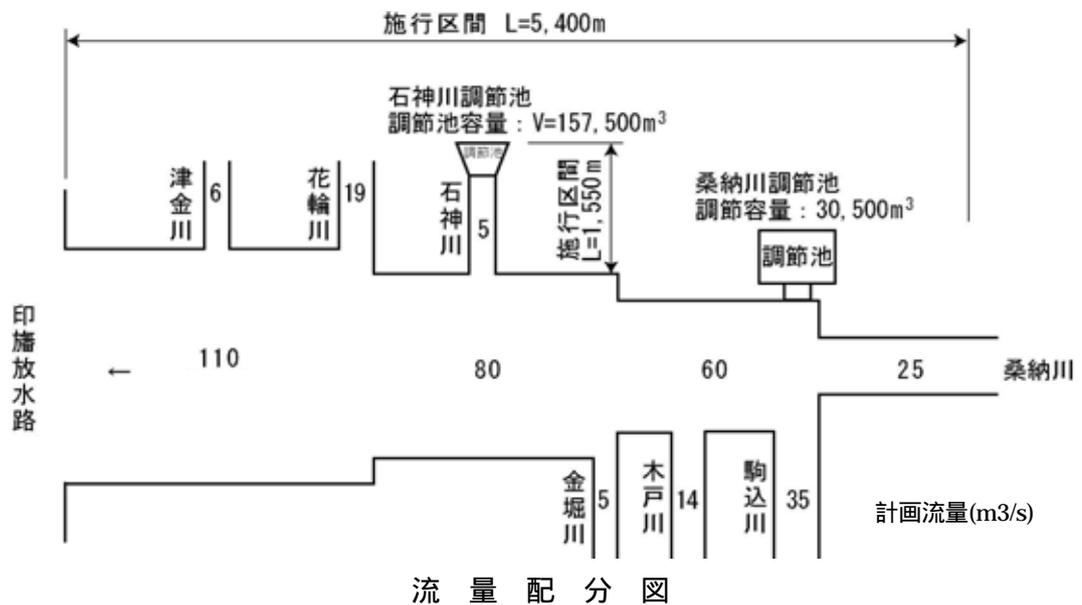
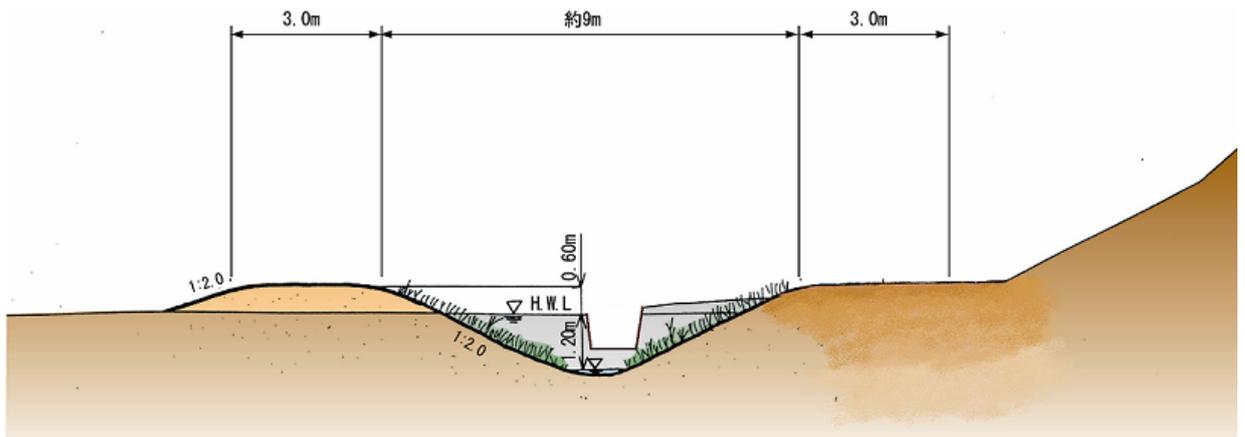
#### 石神川

- ・ 施行区間 桑納川合流点～石神川調節池
- ・ 延 長 L=1,550m
- ・ 整備内容 築堤工，掘削工，河道拡幅，調節池

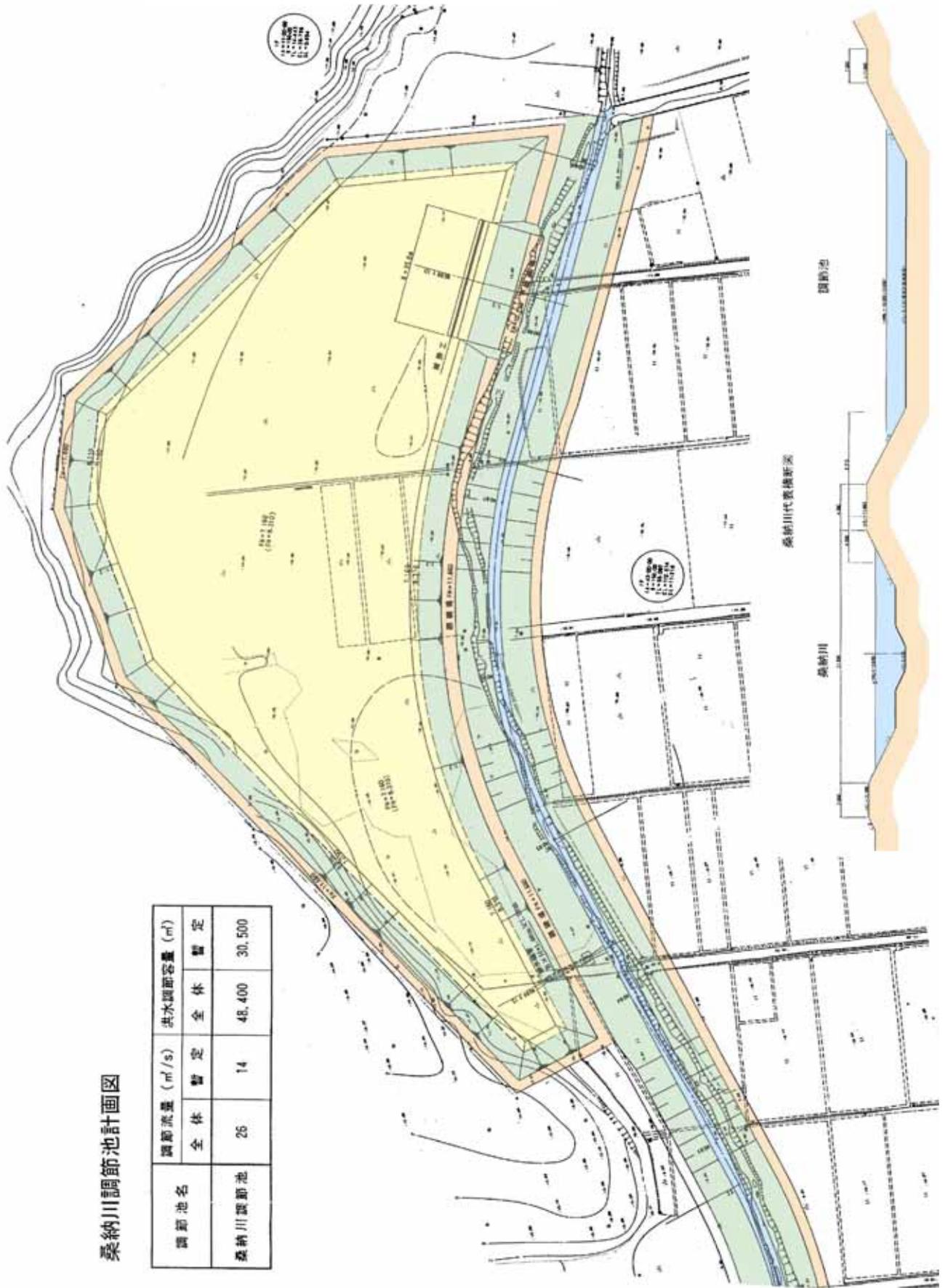
石神川合流点～木戸川合流点（桑納川）



桑納川合流点～石神川調節池（石神川）



# 桑納川調節池イメージ図

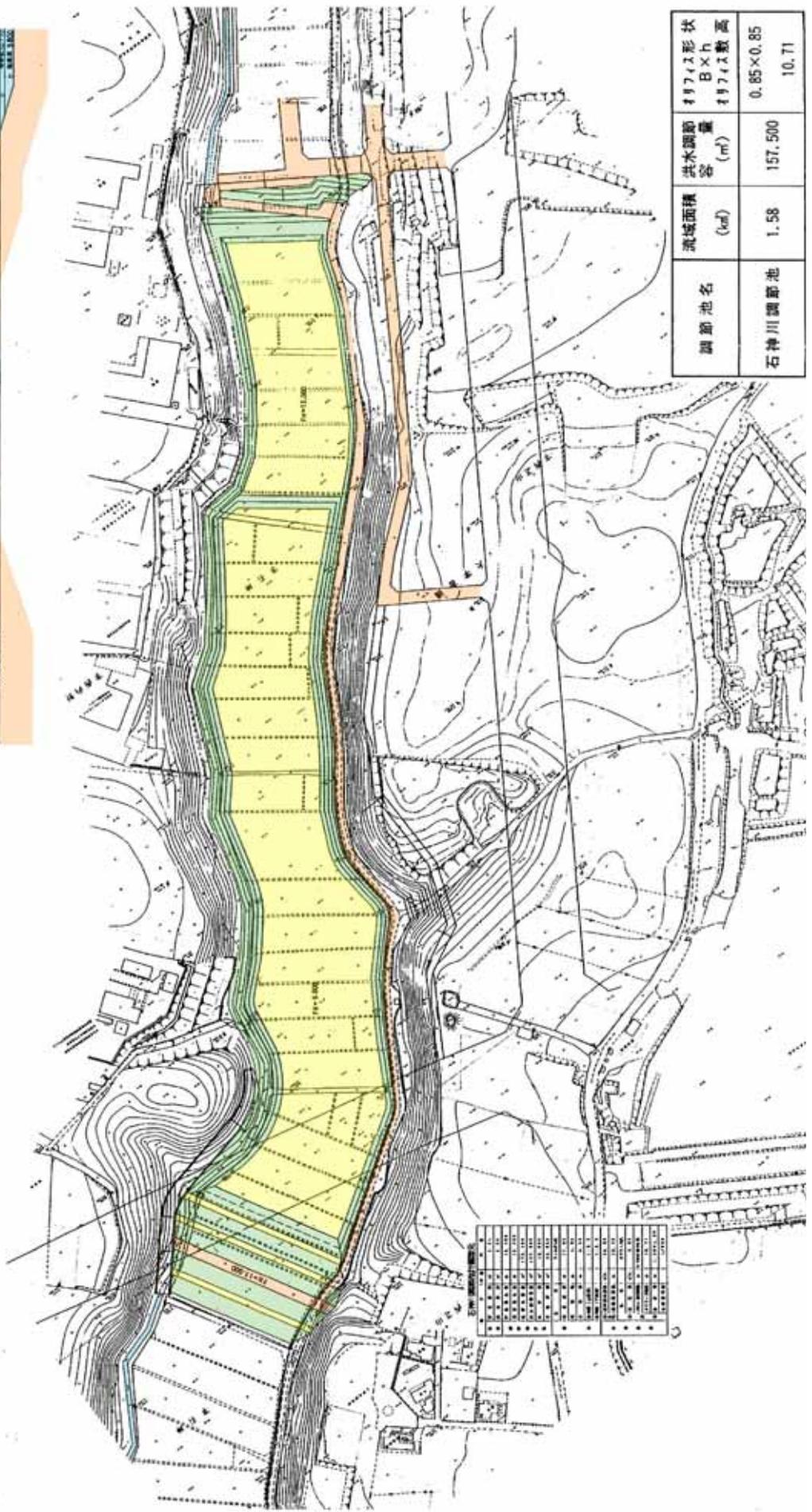
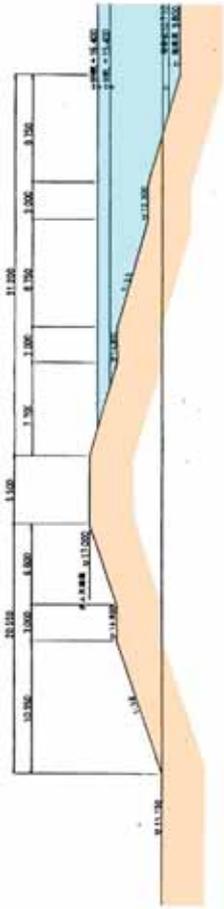


桑納川調節池計画図

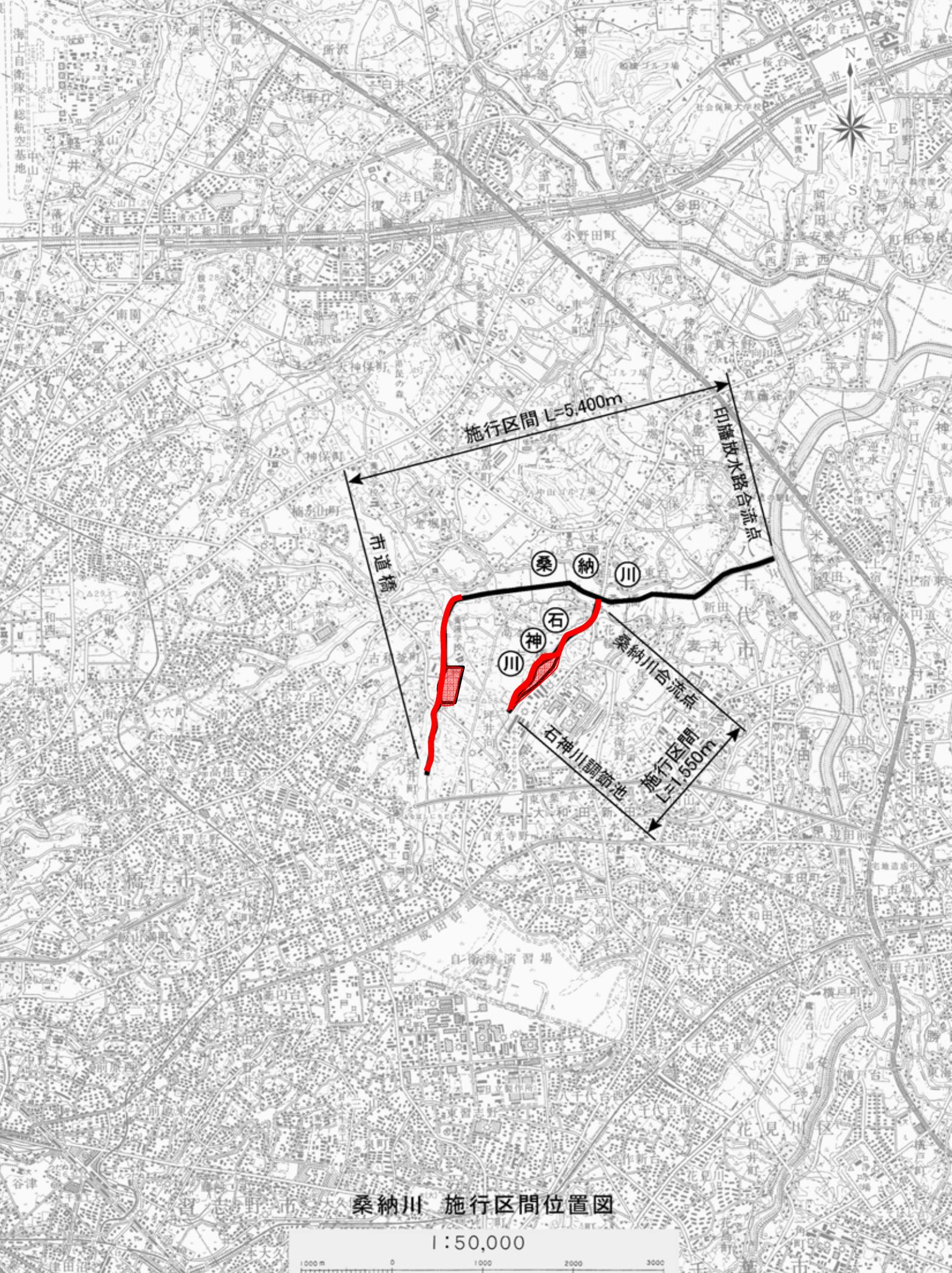
調節池名	調節流量 (m <sup>3</sup> /s)		洪水調節容量 (m <sup>3</sup> )	
	全体	暫定	全体	暫定
桑納川調節池	26	14	48,400	30,500

# 石神川調節池計画図

堤体代表横断面図



調節池名	流域面積 (㎡)	洪水調節容量 (㎡)	貯りやす形状 B×h	貯りやす高さ
石神川調節池	1.58	157,500	0.85×0.85	10.71



桑納川 施行区間位置図

1:50,000



#### (10)印旛放水路(下流部)・勝田川

改修断面は、法勾配 1:2 の土羽河岸を基本とし、護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息・生育環境に配慮し自然素材による自然な水際の回復に努めます。

印旛放水路(下流部)途中の渓谷区間では兩岸に河畔林が茂り、良好な自然環境が創出されていることから、これらの改変を最小限にとどめるように配慮します。

印旛放水路(下流部)の下流区間は、川幅約 80m の河道として高水敷幅を約 16m 確保する計画となっており、市街化の進んでいる地域に残された貴重なオープンスペースとして、関係機関と調整を図りながら積極的な利用を図ります。

勝田川は、改修によって現在の川が大幅に拡幅される計画であり、高水敷も確保されていることから、法面をできるだけ緩傾斜とするように配慮し、水際にヨシ原の造成を行い、動植物の生息・生育環境に配慮した改修とします。

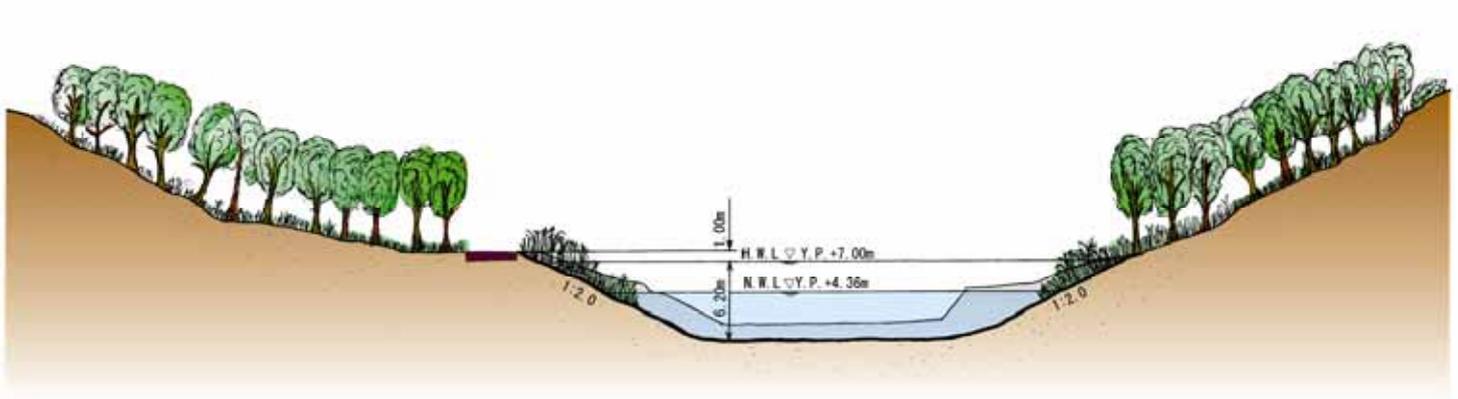
#### 印旛放水路(下流部)

- ・ 施行区間 新幕張橋～大和田排水機場
- ・ 延 長 L=10,400m
- ・ 整備内容 掘削工，河道拡幅，築堤工，護岸工，堰，橋梁架換

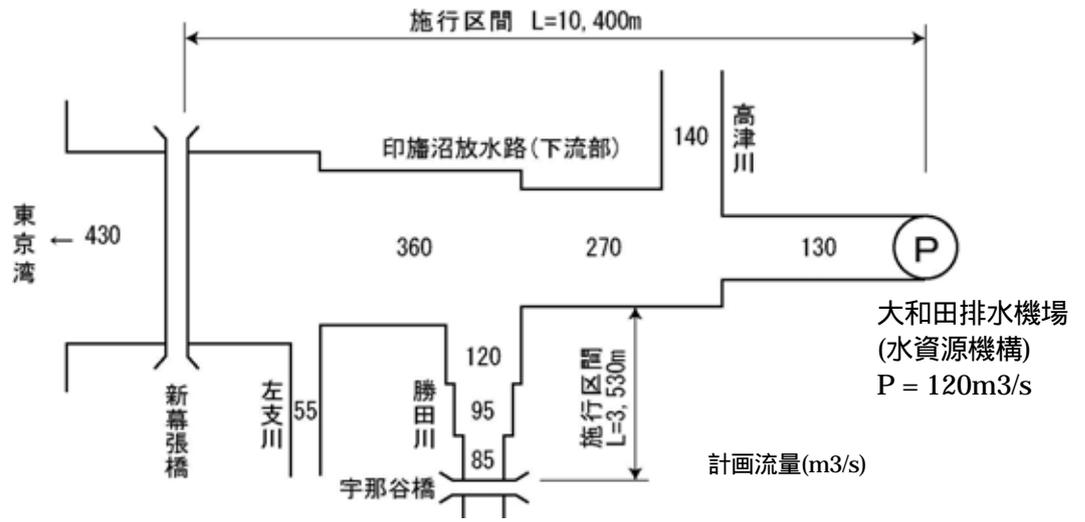
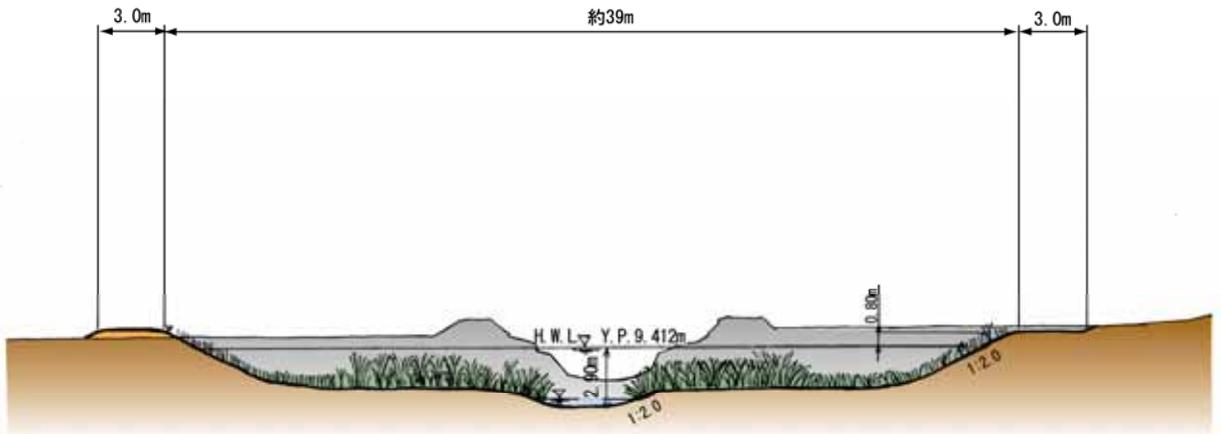
#### 勝田川

- ・ 施行区間 印旛放水路(下流部)合流点～宇那谷橋
- ・ 延 長 L=3,530m
- ・ 整備内容 河道拡幅，築堤工，護岸工，橋梁架換

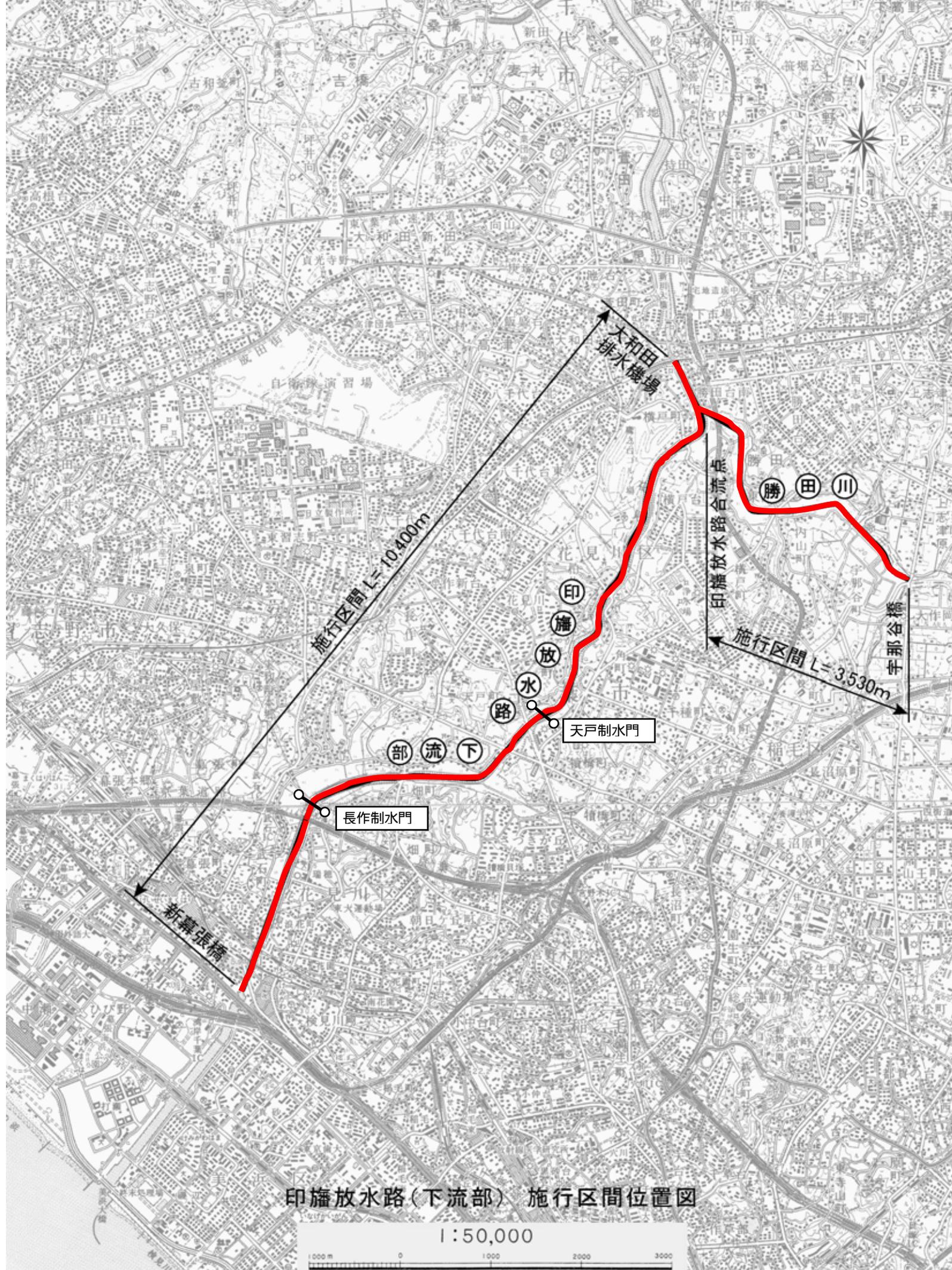
花島橋～勝田川合流点（印旛放水路）



4号橋梁～左支川A川合流点（勝田川）



流量配分図



印旛放水路(下流部) 施行区間位置図

1:50,000

